

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度 第5回金谷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 諮問事項について（公開）

【諮問第27号】新市建設計画の変更について（諮問）

### (2) 平成27年度地域活動支援事業について（公開）

### (3) 平成27年度委員研修について（公開）

## 3 開催日時

平成27年8月26日（水） 午後1時30分から午後4時39分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：田村恒夫（会長）、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）、  
石川美恵子、石黒正勝、市村政則、上野 弘、高橋敏光、  
高橋日出男、竹内恵市、樋口泰斗、山口茂幸、山崎四十四、
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、槇島係長、小林主事
- ・ 企画政策課：大島副課長、柳澤主任
- ・ 自治・地域振興課：三浦副課長、小林副課長、竹内主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・ 13名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

**【田村会長】**

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：竹内委員、樋口委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【橋本センター長】**

資料により説明。

**【田村会長】**

事務局の説明について質疑を求めるが質疑なし。

続いて、議題（1）「諮問事項について」企画政策課に説明を求める。

**【企画政策課 大島副課長】**

資料No.1により説明。

**【田村会長】**

質疑を求めるがなかったため、採決をとり委員全員の賛成により、市の案を適当とすることに決まる。

続いて、附帯意見を求める。

**【石川委員】**

軽微な変更だが、協議会にどのような意見を求めているのか。

**【企画政策課 大島副課長】**

新市建設計画の変更は、全ての地域協議会への諮問事項となっている。軽微な変更でも、地域の意見を伺わなければいけない。

他の地域協議会では、人口減少に対する市の考え方や、計画を5年延長し何をするのかなどの質問があった。このような意見、質問を受ける良い機会だと思っている。

**【田村会長】**

附帯意見なしで答申することです承を得る。

続いて、議題（2）「平成27年度地域活動支援事業について」、正副会長は審査に加わることから、事務局に会の進行を求める。

**【橋本センター長】**

資料No.2により説明。

審査の流れを説明し、質疑を求めるがなし。

続いて、整理No.13「金谷区（灰塚駐在管内）の交通安全のための「のぼり旗・ポール」設置事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【橋本センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【石川委員】**

のぼり旗は、今まではどこから予算支出していたか。

**【提案者】**

13町内会からの車両割会費の中から支出している。

**【石川委員】**

全部変える必要はないと思うが、今回は全部新しくするのか。

**【提案者】**

13町内で100本、黒田小学校と高田西小学校を合わせて50本ある。小学校は3～4年前から更新していないので、相当壊れていると思う。のぼり旗は今日のような風ではぼろぼろになるし、ポールも貧弱で壊れやすい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【山崎委員】**

のぼり旗とポールの単価は。

**【提案者】**

のぼり旗が860円、ポールが540円。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【上野委員】**

のぼり旗は毎年補充してきたのか。

**【提案者】**

状況がいいと2年ぐらいいもつので、随時様子を見たり、各町内から壊れたという連絡があれば、すぐ補充するようにはしているが、現状では十分でない。

採択されればもっと出したいと思っている。

**【上野委員】**

直近の収支決算では、収入に対する支出の差額が20万円ほどある。この残金でこれぐらいいは十分買えるのではないか。

**【提案者】**

他にも実施したいことがあり、次年度に繰り越していくため、そんなに余裕はない。今年度の当初募集で不採択になったカーブミラーの件もそうである。

**【上野委員】**

旗はぼろぼろになるが、ポールはまだ十分に使えるのではないか。

**【提案者】**

ポールも上部のピンが外れると使い物にならない。ピンだけ購入することはできない。ポールよりも旗の破損率が高いため、当初、旗の数をポールよりも多く考えていたが、申請手続きをする時に同じ数にするよう事務局から指導があった。

**【橋本センター長】**

これは事務局のほうから説明をさせていただく。当初の相談では、ポールよりも旗の数を多く考えているということだった。この補助制度では、補修や維持管理のための費用は対象にならないため、旗は壊れたときの交換用か確認しところ、全て新規に設置するとのことだったので、旗とポールが同数必要ではないかということで提案者自ら変更されたと担当から報告を受けている。同じくしてくださいという言い方はしていないと思うが、受け答えをされた方と行き違いがあるのであれば修正いただきたい。

**【提案者】**

私の認識も不足していた。

**【石黒委員】**

提案書に、安全安心の抑止力を高めるとあるが、この旗を立てた効果はすぐには

分かりづらい。具体的にはどのようにフィードバックするのか。

**【提案者】**

経験では、ドライバーが交通安全の旗を見ると安全意識が高まる。提案者の安全パトロール車を見て、シートベルトをしていない人がシートベルトをするといった例もあった。交通安全に役立っていると確信している。

**【石黒委員】**

関連して2つ聞きたい。提案書に安全パトロール、交通マナーの監視などを行うとあるが、違反を見つけた場合にはどのようにするのか。また、危険箇所の把握とあるが、把握した危険箇所を無くすような具体的な活動はあるのか。

**【提案者】**

危険箇所については、十字路等の見えない所は、警察、公安を通してカーブミラーの設置を、また、停止線・中央線・外側線は早めに白線を引くよう警察にお願いをしている。

あと、年に4回交通安全協会のチラシを全戸配布し啓発運動もしており、みなさんは認識を新たにしていると思う。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【山崎委員】**

安全立哨または街頭指導を行う方に対する費用弁償や手当は出ているか。

**【提案者】**

支部では立哨は、春と秋に1回40分で500円を費用弁償として出している。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.13「金谷区（灰塚駐在管内）の交通安全のための「のぼり旗・ポール」設置事業」の採点を終了。

続いて、整理No.15「金谷区（飯塚駐在管内）の交通安全のための「のぼり旗・ポール」設置事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【高橋日出男委員】

先ほどの灰塚駐在管内の提案書と文言が全て同じだが、やることは同じなのか。

【提案者】

同じである。

【高橋日出男委員】

面積とか戸数割りとか、基本的なものが係ってくると思う。

提案書がどこか違ってよかったのではないか。仕方が感心できるものではない。

【提案者】

提案するのは初めてで失礼した。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

活動状況を見ると、地域に偏りがある。管内は同じレベルで活動してほしいと願っているが、どうも一極集中のきらいがあるように見受けられる。

例えば、交通安全週間の行事を見ても、大貫や平山も含めた上のほうでは活動の様子が見られない。一つの管内ならば、どこも同じ取組をしている姿を見せてもらいたいと思っている。

【橋本センター長】

ご意見でよいか。

【山崎委員】

そうである。

【橋本センター長】

提案者に、何かあれば発言を求める。

【提案者】

もつともである。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

今まではどこから予算が出ていたのか。

【提案者】

戸数割からである。

【高橋日出男委員】

今回は100パーセントこの補助金を使いたいとのことだが、これまでの戸数割りから支出できない理由があったのか。

【提案者】

そうではない。

【高橋日出男委員】

この補助金を使おうとしたのはどうしてか。

【提案者】

飯支部の予算も厳しくなっているため。

【高橋日出男委員】

見積書は、灰塚支部と同じところから取り、同じ金額になったということか。

【提案者】

同じように取ってもらった。

【高橋日出男委員】

取っていただいたということか。

【提案者】

そうである。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.15「金谷区（飯駐在管内）の交通安全のための「のぼり旗・ポール」設置事業」の採点を終了。

続いて、整理No.11「中ノ俣景観整備事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【橋本センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【山口委員】**

展望台の高さと広さは。また、見積りの中の大工手間代15,000円は、地元の大工に準ずる方の手間代か。

**【提案者】**

広さは、幅3m、長さ8mの24㎡。斜面を利用しており、基本的な構造は今ままで変わらない。少し見栄えを良くしようと考えている。

大工手間代の見積もりは、会長が大工なので、会長からと、集落に出入りしている大工の方をお願いしが、その出入りしている方が怪我をされたので、今回は会長をお願いしたい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【高橋日出男委員】**

現在のものは、いつ頃造られたのか。

**【提案者】**

8年ぐらい前に造った。茶会では20人くらい一度に上がることもあり、不安がられる。新しくしないといけないと感じた。

**【高橋日出男委員】**

当時の費用は大体いくらか。

**【提案者】**



3万円ほどNPO予算から出してもらい、残りは私がボランティアでやった。材木の運搬にダンプ等を借り、謝礼として3万円ぐらい使った。

**【高橋日出男委員】**

事業内容からは「景観整備事業」ではなく、「角間展望台の改修工事」や「憩いの広場の改修工事」などが良かったのではないか。

**【提案者】**

自分たちの捉え方としては、数年前から行っている全体的な景観整備の一環と考えており、例えば去年は、落合の滝の展望場の整備や、角間の駐車場の拡張を行った。ちょっと誤解になったかもしれない。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【竹内委員】**

作成するパンフレットは、角間展望台だけの内容か、或いは昨年までの事業を含む全体的な内容のパンフレットなのか。

**【提案者】**

全体的な内容のものである。去年は同様に3回作成し必要なところに配布した。今年も考えている。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【上野委員】**

防腐剤を塗る作業がある。現在のものは8年ぐらいで老朽化したとのことだが、今回の防腐剤ではどのくらいもつのか。

**【提案者】**

従来は、1缶6,000～7,000円の塗料を使っていたが、日に当たると1年ほどで剥がれてしまう。今回は1缶20,000～30,000円近いものを使う予定である。集落内の看板で既に使用しているが、3年経っても変化してない。金額は高いが、今、考えられるものの中では一番良いものを使う。

もう一点、現在の軸組は杉の丸太に防腐剤を塗っただけのもので老朽化が早かつ

た。今回は昔よく使われた木柱に重油を染み込ませた電柱を、柱や主要な骨組みに使用することで、半永久的にもつのではないかと期待している。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【樋口委員】**

年間約5,000人見に来る方の中で、リピーターと一見の割合はどうか。また、県内外の方へのPR方法は。

**【提案者】**

近々、テレビ局の旅番組の取材がある予定で、PRしてもらえると期待している。

集落に来て半日ぐらい散策できるようなことを目的としている。具体的には、環境保護活動に5,000人ぐらい来ている中で、3分の1ぐらいは展望台に案内している。これから大いに情報発信し、いろいろな人から訪ねてきて欲しいと考えている。

**【樋口委員】**

何度も訪ねて来る方もかなりいるか。

**【提案者】**

今年7回目のお茶会を行ったが、半数以上がリピーターであった。年間のスケジュールに入れていただいている方もおり、ありがたい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【石黒委員】**

雨天でも使えるよう、屋根付きの展望台は考えなかったのか。

**【提案者】**

当初考えたが、建築基準法の手続きで手数がかかるため断念した。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.1 1 「中ノ俣景観整備事業」の採点を終了。

続いて、整理No.1 4 「金谷地区金管鼓隊演奏振興事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【橋本センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【高橋日出男委員】**

団体等の沿革に、高田西小学校同窓会として設立されたとあるが、同窓会と分離して後援会ができたと解釈してよいか。

**【提案者】**

そうである。

**【高橋日出男委員】**

事業の実施スケジュールでは7月からとあるが、不採択になった場合は取り止めにするのか。

**【提案者】**

提案の採否に関わらず、地域のために貢献するため後援会予算により金管鼓隊の演奏は行う。次の活動で更に充実した発表ができるよう提案した。

**【高橋日出男委員】**

楽器は非常に高額で維持費もかかる。後援会で維持管理経費の具体的な計画等はあるか。

**【提案者】**

楽器のレンタル契約が今年で満了となり、その楽器が学校に譲渡される予定である。レンタル契約期間に限り、1世帯あたりの年間後援会費300円を400円に上げて、レンタル費用を捻出していたが、次年度以降はレンタル費用が不要となるため、年会費は下がるが、計画的に楽器を購入し整備していけるのではないかと思う。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【石川委員】**

トランペット5本、トロンボーン3本、チューバ1本を購入とあるが、今まで持っていたのか、借りていたのか。また、全体の数は。

チューバは369,600円とあるが、小学生に高価な楽器が必要か。この価値を教えて欲しい。それよりも、もっと大勢の子どもたちに楽器を楽しませる方法もあると思うがどうか。

**【提案者】**

楽器は全体で60台ぐらいあり、その中で使えるのは50台。そのうち3分の1がレンタルである。チューバを含め、約40年使っている楽器もある。

40年で40万円とすると1年1万円で、長い年月で考えるとコストは大きくないと思う。チューバは演奏では大事なパートで迫力が違ってくる。それに代わる楽器はない。中学校に進学した後のことも思うと、小学校のうちから楽器に親しんでいくことも大切なのではないか。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【市村委員】**

今のメンバーの人数はどれくらいか。

**【提案者】**

金管鼓隊は6年生が原則全員参加となっている。今年の6年生は70名、来年は80名で人数が増える。不採択になった場合は、今使っていない楽器を修理し使っていく。

ただ金管鼓隊は楽器演奏とフラッグがあり、80名全員が楽器に触れるわけではない。15から20名ぐらいはフラッグを担当する。

**【市村委員】**

将来、全国大会に出場するなどの目標はあるか。

**【提案者】**

飯小学校のマーチングバンドは全国大会の常連となっており、それも一つの道だ

と思うが、当校はあくまでも地域の皆さんに喜んでいただくことを第一に考え、活動していきたい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.1 4「金谷地区金管鼓隊演奏振興事業」の採点を終了。

続いて、整理No.1 2「安心安全まちづくりの防犯活動強化事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【橋本センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【高橋日出男委員】**

1 4町内会に防犯用品を人口により配分するとある。大きい町内と小さい町内の割り振りについてどうか。

**【提案者】**

戸数割で割り振ってある。最低は2着、多いところでは10着から12着で、合計86着となった。

**【高橋日出男委員】**

2人程度のパトロールでは危険なこともある。最低でも3～5人以上と手厚くし、回る方の安全を確保してほしいがどうか。

**【提案者】**

現在も少なくとも3人組でパトロールを行っており、パトロールする人たちの安全もきちんと確保している。

また、昨年度の地域活動支援事業で、録音できるメガホンや懐中電灯を用意したことで、3年前よりもパトロール環境は良くなっている。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【石川委員】**

夏場、オレンジ色の帽子だけでも目立つ。冬場のものだが、上下両方ではなく上着だけをたくさん揃えるわけにはいかないか。

**【提案者】**

冬期間荒天時で傘のさせない時のためにズボンを用意した。防水性があり、保温性にも優れており、消防のレスキュー隊向けの性能がある。オレンジ色のものは少ないので、消防用品から選んだ。

**【石川委員】**

各町内に上下を配ると数が足りないのではないか。良いものなら全員に行き渡るように、下は各自で用意し上を1人分でも多く揃えたらよいのでは。

**【提案者】**

今活動している人数であれば足りる。品質が良いので2、3年で使えなくなることはない、5～8年は使える。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.1 2「安心安全まちづくりの防犯活動強化事業」の採点を終了。

続いて、整理No.1 6「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【橋本センター長】**

提案説明について質疑を求める。

**【上野委員】**

提案の258灯をLED化しても、非LED防犯灯が1,100灯も残る。LED化を早期に完了させるため、もっと多く整備してはどうか。

**【提案者】**

防犯灯は、金谷区全体で1,623灯、うちLED化したもの169灯、市の防犯灯LED化補助金に申請したもの92灯、現在町内がないところ2灯で、残りの1,360灯のLED化を行う。追加募集の予算額を勘案し258灯とした。

**【石川委員】**

提案目的が環境保全なら分かるが、防犯ということであれば、LED化で明るくなるわけでも数が減るわけでもないので納得し難い。

**【提案者】**

市から5年でLED化を進めるよう要請がある。環境面では消費電気が少なく、10年間くらいは交換不要で、町内住民からLED化の利点は理解され早期実施の要望は強いが、町内単独では1灯当たり2～3万円となり、各町内会の切迫した予算では5年以内の完了は困難である。今回のような一括発注では1万4千円となり、金谷区全域のLED化を進めるため、継続して事業実施していきたい。

**【石黒委員】**

優先順位を付けて実施するとあるが、どのようにするのか。

**【提案者】**

各町内の割り当て数の考え方は、10灯以下の5～6町内は今年度でLED化を完了させる。それ以上の灯数の町内は今年度10灯くらいずつ割り当てられると思うが、最終的には三役会議で決定する。各町内から不平不満が出ないように、納得いく形で行いたい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【竹内委員】**

市は5年以内にLED化を完了してほしいとのことだが、金谷区振興協議会としてもそのように考えているか。

**【提案者】**

LED化事業は振興協議会の一大事業になる。

今回258灯が採択された場合、残りの1,102灯に今年の単価1万4,027

円をかけると、今後1,545万7千円の費用が必要であり、1～2年で実施するのは難しい。市の意向にそって5年以内くらいにLED化を完了したいと考えており、来年度以降は地域活動支援事業の一次募集で提案したい。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求める。

**【竹内委員】**

何年か前に朝日町内会で百万円くらいかけて全部街灯を直した。それらもまた新しくするか。

**【提案者】**

朝日のものは、高速道路の山側に防犯上特別に付けたので別の扱いになる。今回は市に登録されている防犯灯が対象である。

**【橋本センター長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.16「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」の採点を終了。

— 休憩 —

**【橋本センター長】**

— 採点結果を説明 —

- ・基本審査において、委員の過半数が「不適合」とした事業なし
  - ・共通審査において、獲得点数が全委員13名の満点である325点の半数に満たない事業なし
  - ・採点結果を報告。採点結果による予算配分枠に対する残額0円
- 採択審査について、議事進行を会長に求める。

**【田村会長】**



- ・基本審査で不採択となる事業はないことを確認
- ・採点結果の順位を確認
- ・減額すべき経費について、委員に意見を求めるがなし。

現状の整理を事務局に求める。

**【橋本センター長】**

6件全ての事業が予算ボーダーライン内で収まっている。「不適合」となった事業はない。このあと、6件の事業の採択と附帯意見を附すかについて協議を。

**【田村会長】**

提案事業について、6事業を採択することで出席委員全員の了承を得る。

提案者に対する附帯意見を求めるがなし。

続いて、次第3議題（3）「平成27年度委員研修について」事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

当日配布資料No.1により説明。

**【田村会長】**

事務局の提案について質疑を求めるがなし。

続いて、次第4その他（1）「地域協議会の見直しの検討状況に関する説明及び意見交換」について自治・地域振興課に説明を求める。

**【自治・地域振興課 三浦副課長】**

資料No.4より説明。

**【田村会長】**

質疑を求める。

**【石川委員】**

説明を聞くと先細りで寂しくなる感があるが、非常勤職員の委員資格を認めることは素晴らしい。

人口減少に伴う委員定数の減員は仕方がないが、市議会議員定数もこういう人口減に関連して何処かで議論されているのか。

**【自治・地域振興課 小林副課長】**

議員定数は市議会が議論し決めるもの。市長部局では議論していない。市議会の中で動きがあるかは把握していない。

**【石川委員】**

それはそれとして、人口規模に応じた市議会議員定数もあると思う。人口の減少に応じた定数議論はないか。

**【自治・地域振興課 小林副課長】**

表の一番右側に「改正前の自治法の上限定数」とあるように、以前の地方自治法では、市町村議会の議員定数の上限があり、必要ないとして上限定数未滿を定数としていた議会もあった。

現在はこの上限は撤廃されているが、委員定数基準の見直しに当たり参考にした。

**【石川委員】**

他意はないが、こういうのが出てくると、連動して議員の定数はどうなのかなと思った次第である。

**【田村会長】**

他に質疑を求める。

**【上野委員】**

諮問基準の整理・見直しの中の、その地域の人しか利用しない施設は誰がどのようにして判断するか。

**【自治・地域振興課 三浦副課長】**

合併前の町村である13区には、農村公園や地区集会施設等、主に地域の町内会の方が利用する施設が多くある。

これらの施設を廃止する場合に地域協議会に諮問すると、地元の方が廃止を了解しているなら地域協議会が反対する理由はないという意見が多く出され、地域協議会からもそうした声があったことから、今回、諮問案件から除外する方向で整理した。

**【上野委員】**

農村公園のようなものは私の町内にもあり、町内会長の立場で利用者について

市の担当者から質問を受けた。

しかし、地域協議会の自主的審議ともオーバーラップする部分もあると思う。

今回の見直し案では、その施設について市が一方的に廃止できるように読み取れる文言だと思うが、その点はいかがか。

**【自治・地域振興課 三浦副課長】**

諮問事項から除外したとしても、地元の地域協議会委員の皆さんには情報提供し、十分な自主的審議の時間を取れるようにしたいと考えている。地域協議会で自主的審議をし、廃止反対の意見書を上げることは可能。

**【田村会長】**

他に質疑を求める。

**【石川委員】**

以前、厚生産業会館等の諮問に絡んで、施設建設の諾否そのものの意見を求めてはいないとの説明があった。我々にその資格はないのは分かっているが、地域協議会で賛同の答申をすれば、一般には建設そのものにお墨付けをしたと受け取られかねない。市が答申を扱うにあたり、諮問した具体的な内容を明確にしてほしい。

今日の新市建設計画の変更についての諮問では、計画期間が大きく変わるわけでもなく、説明を受けても意見の言いようがない。なぜ説明に来たか質問したところ、諮問することになっているとのこと。こういうものは、今後も諮問事項の中に入るのか。

**【自治・地域振興課 小林副課長】**

厚生産業会館の諮問の時に、どういう観点から地域協議会の皆さんが審査をしなければならないかということが問題になり、多分その時初めて、地域協議会はあくまでも地域の中で選任された方々なので、地域住民生活に及ぼす影響という観点から審議をしていただきたいという言い方をした。

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条には地域協議会の権限が定められている。資料No.4の1ページ下部の条文に下線を引いてあるとおり、地域自治区の区域内のことについての権限を定めている。委員がそれぞれの自治区で選任さ

れた以上、それぞれの自治区に限定された内容で審議をしていただきたい。区内の住民生活に及ぼす影響という観点から諮問をするので議論してほしい。

新市建設計画の変更だけは条文上地域自治区に限定はなく、全ての地域自治区へ諮問しなければならない。新市建設計画の期間は当初10年で終わりの予定だったが、震災の関係による期間延長に伴う諮問であることを了解いただきたい。

【石川委員】

今後も、説明に来るのか。

【自治・地域振興課 小林副課長】

新市建設計画だけは諮問する。

個人的には、個別の事業が変わらない限りは除外してもよいという思いはある。

【石川委員】

私も除外してよいと思う。

【田村会長】

他に質疑を求めるがなし。

— 自治・地域振興課 退席 —

続いて、次第5「事務連絡」について事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

- ・ 本日の採択事業について、速やかに補助金交付決定の手続きを行う。
- ・ 次回 第6回協議会：9月16日（水）午後6時～ 福祉交流プラザ
- ・ 委員視察研修：10月27日（火） 詳細は別途案内予定

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

会議の閉会を宣言。

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。